東京ジャーミイ金曜日のホタバ

2009 年 5 月 22 日

忍耐とその重要性

親愛なるムスリムの皆様。忍耐とは、人間的な感情を、知性や教えの示す境界の中で保ち、身に起こったあらゆる災いについてアッラー以外の誰から助けを求めることことなくその痛みに耐えることを意味します。忍耐はよい徳の中心であり、信仰の半分であり、幸福の鍵であり、天国の恵みへと至らせる大きな徳です。忍耐の、現世に向いた方は苦いものですが、来世の側は甘美なものです。忍耐のつらさを味わう者は、永遠の住みかである天国と、アッラーのご承認とに至ることができるでしょう。

親愛なる兄弟姉妹の皆様。忍耐の最初の条件は、忍耐を必要とさせるような出来事が起こった最初の時にそれを示すことです。示すべき時間に示されなかった忍耐には、それほどの報奨はありません。大きな報奨は大きな忍耐、災いに耐えたことの後でもたらされます。崇高なるアッラーは「よく耐え忍ぶ者は本当に限りない報酬を受ける。」（集団章第 10 節）と命じられ、信者に忍耐強くあることを命じられておられるのです。(カーフ章第 28 節)　預言者達やアッラーに愛される者達は忍耐に関して素晴らしいお手本を示し、アッラーの助けを得ることができていました。彼らは忍耐において私たちの模範なのです。アッラーは、その身に起こった災いに耐えたことで、アイユーブを「何と優れたしもべではないか。」（サード章第 44 節）と賞賛されています。預言者ムハンマドも、信者たちに災難に対し忍耐強くあることを奨励され、ウンマの模範となられました。　預言者ムハンマドは、忍耐の種類と徳を示すあるハディースで、「忍耐には三つある。災いに対する忍耐、しもべとしての服従行為を行う際の忍耐、そして罪を犯さないための忍耐である」と語られています。ルクマーンもその息子に、「息子よ、礼拝の務めを守り、善を（人に）勧め悪を禁じ、あなたに降りかかることを耐え忍べ。本当にそれはアッラーが人に定められたこと」（ルクマーン章第 17 節）と忠告しています。

親愛なるムスリムの皆様。忍耐という試練は、最も困難な試練の一つです。ただ、アッラーのご命令や禁止事項における恵みや神の報奨を考えることは忍耐を容易とします。アッラーの９９の美名のうちの一つは、アッサブール（忍耐されるお方）です。しもべがそのような性質を得ることは彼をアッラーにより近づけるものとなります。誰かにおいて忍耐が見られるなら、そこにはアッラーのお力の顕現があるということなのです。アッラーは非常に忍耐強くあられ、決して短気ではあられず、そして預言者やしもべたちにもそのようであることを命じられたのです。

忘れてはいけないことは、信者の身に起こる災い、もたらされる苦痛や困難は、それに対し示される忍耐に応じて、罪を清め善行を増やすものとなるのです。今日のフトバをクルアーンの言葉の訳によって締めくくります。「あなたがた信仰する者よ、耐え忍びなさい。忍耐に極めて強く、互いに堅固でありなさい。そしてアッラーを畏れなさい。そうすればあなたがたは成功するであろう。」（イムラーン家章第 200 節）